

<むきあう過程> (全7時間)

第26時

今まで追究してきたことを生かして、さんとさんを招いて楽しい交流会を開こう  
平成 年 月 日(曜日)第 校時  
4年生教室 T1 ( ) T2 ( )

第27時~28時

今まで追究してきたことを生かして、さんとさんを招いて楽しい交流会を開こう  
平成 年 月 日(曜日)第 校時  
4年生教室 T1 ( ) T2 ( )

1. 目標

今まで追究してきたことを総合的に生かしていくために、自分なりの目標をしっかりとって2回目の交流会の計画や準備を進めていくことが出来るようになる。

2 評価の観点

**自分の学習をふりかえり、次の学習をより良くしていく力**

3 評価基準

今まで学習したことを進んでふりかえり、次の学習に向けて自分をさらに高めていくことのできる新たな価値ある目標を考えようとする。  
今まで学習したことをふりかえり、次の学習に向けてより良い目標をつくらうとする。

今までの学習をふりかえったことから自分をさらに高めていくことのできる新たな価値ある目標をつくり、見通しのある計画をたてることのできる。  
今までの学習をふりかえり、より良い目標や見通しのある計画をたてることのできる。

身近な生活や障害者の生きる社会との関わりから、将来に向けての生き方を自分なりに考えることができる。  
身近な生活との関わりから、自分の考えをもつことのできる。

4 評価の視点

子ども一人一人が今まで追究し身に付けた力を生かそうとすることが出来る場として、聴覚障害者や手話通訳者との2回目の交流会を設定し、学ぶ喜びを味わうことのできる学習過程の工夫をする。

今まで学習してきたことを進んで振り返ることができるよう、これまでの自分の学びの道筋がわかる学習ファイルの整理を行うなど、ポートフォリオ作り活動を取り入れ、自己評価の工夫をする。

これまでの評価活動による実態把握から、学習活動や支援の工夫の改善を行い、子ども一人一人が自分に自信がもてるように、さらに理想をもって追究していくことができるように、一人一人に応じた評価活動を行う。

授業後、主に次時の学習活動に生かせるようにするため、ワークシートなどの子どもの自己評価と教師の観察評価などを合わせて、基準で実態把握し、特記事項を個人カード1に記入する。

今後の学習活動に生かしたり、通知票や要録の資料にするために、最後に個人カード2に評価の観点にそって基準で総括的評価を行い、特記事項を記入する。

5 準備 ワークシート、クリアファイル、ファイルボックス(ポートフォリオ用)、手話関係ビデオ8巻、パソコン室、図書室、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、ビデオデッキ、テレビ

6 展開

第26時

今まで追究してきたことを生かして、さんとさんを招いて楽しい交流会を開こう

活動の概要

2回目の交流会に向けて、自分自身の学びの道筋がわかるポートフォリオ作りの活動を行い、今まで追究し身に付けた力を生かすことのできる目標や見通しある計画をたてる。



7. 個人別の評価方法

これまでの評価活動による実態把握から、学習活動や支援の工夫の改善を行い、子ども一人一人が自分に自信がもてるように、さらに理想をもって追究していくことができるように、一人一人に応じた評価活動を行う。

名前	目標： や計画：	一人一人に応じた評価活動
A	さんとたくさん話をする。 手話で自己しょうかいや趣味などの会話を する。ゲーム係	・「こんな自分になりたい」という目標に対する意識が明確で、今までの追究活動も主体的な学習態度であった。作文では、「外でもたくさん手話を使いたいです。」と書いていた。観察などから、子どもの思いを見取り、さらにその思いを豊かにふくらませて高い目標がもてるように言葉かけなど適切な支援をしたい。
B	さんと話やあいさつができる人になりたい 手話とカードで自己しょうかいやいろいろな話を する。ゲーム係	・見通しのある計画をたてたり、計画に沿って取り組んでいくことが苦手だが、ふるさと学習発表会で手話による自己紹介が出来たことで大きな自信と満足感をもてた。作文では、「もっと（手話が）上手になりたいです。」と書いていた。この思いを大事にしたい。2回目の交流会でもさんととの会話が手話でできるように、少しずつ話したいことを手話で出来るように、言葉かけを積極的に行ったり、友だちからの励ましを受けられるように配慮したりしながら、自分から追究していきけるような支援をしていきたい。
C	都道府県の手話がんばりたい 県名を手話で見せたり、カードをつか って話をする。準備係	・自分なりに納得がいくと、進んで追究していくことが出来た。思いを見取りながら、それをふくらませていけるような言葉かけを行っていききたい。
D	はずかしがらないで発表する 指文字で自己しょうかいする。招待状 係	・思いが空回りした行動が見られ、適切な言葉かけの支援が必要な場面が見られた。ふるさと学習発表会では、なかなか思いを実現する発表が出来なかったが、演技の中に手話を取り入れることを助言し、自分たちなりに楽しく発表することが出来た。この経験を生かせるように、見守りながら言葉かけなどの支援を行っていききたい。
E	大きな声で楽しくしたい カードでクイズを出す。司会係	・追究活動では思いを実現していくことが難しかったが、ふるさと学習発表会では活動が生き生きとしていた。作文には、「・・・すごく楽しくできたと思います。・・・でももうちょっと自信をもってできたらと思います。」と書いていることなどからも、ポートフォリオ作りを通して自分自身をしっかり見つめ直し、これまでの経験を自ら生かしていくことが出来るような気付きを期待して、言葉かけを行っていききたい。
F	紙に書くことをがんばる カードをつかって自己しょうかいや話 をする。ゲーム係	・これまで、さんととの交流に対する気持ちに比べて、集中した取り組みが難しかった。ふるさと学習発表会では、プロジェクター操作の役をがんばったが、追究活動で身に付けた力を生かした手話や劇などの発表をした友だちの姿を舞台の下から見たことから、自分自身の学びを見つめ直すことが出来たのではないかと期待している。2回目の交流会では、自分自身が交流会後も納得できる目標や計画をたてられるように、言葉かけを積極的に出来るよう配慮したい。
G	司会者がんばる 手話やカードで自己しょうかいやいろ いろな会話を。司会係	・自分の思いを、追究活動やふるさと学習発表会で十分に発揮することが出来ていた。今後は自信をもって追究活動をしていくことを期待して、観察などを通して見守っていききたい。
H	大きな声でできるようにしたい 手話で自己しょうかい。準備係	・どうしても友だちを頼ってしまう。前半部の活動は、一人一人でさんと交流する場なので、そこでは自信をもって自分なりの追究活動が出来るように、言葉かけなどの支援を積極的に出来るように配慮したい。
I	まちがえないで自己しょうかいする カードでクイズを出す。案内係	・追究活動でもふるさと学習発表会でも、思いを發揮した取り組みが見られなかった。しかし、ふるさと学習発表会に向けて少しずつ自分自身を見つめ直すことが出来るようになってきていることが伺える変化が、自己評価に見られはじめた。作文には、「・・・緊張しないで大きな声で言いたいです。・・・今度はふらふらしないようにしたいです。」と書くなどしている。達成感や充実感が交流会後に味わえるような追究活動が出来るように、積極的な言葉かけの支援が出来るように配慮したい。
J	50音をがんばる 50音の指文字やいろいろな会話をす る。招待状係	・自分なりの思いを強くもって追究活動をしてきた。ふるさと学習発表会では、指文字50音をすべて暗記して大きな拍手をもらうなど、大きな満足感や達成感を味わうことが出来たようで、作文からもうかがえる。自ら交流会に向けて取り組んでいくことが大いに期待されるので、見守っていききたい。
K	さんと話したりする 手話でいろいろな会話ができるように する。準備係	・これまでの学習ファイルの整理の仕方からも、課題意識をしっかり自覚しながら追究してくることが出来た。発表では自分なりの反省もでき、自ら交流会に向けて取り組んでいくことが大いに期待される。目標が実現して、達成感や充実感を味わうことが出来るように、見守っていききたい。
L	手話をまちがえないでやる 手話でいろいろな会話ができるように する。案内係	・これまでの自己評価の様子から、つねに高い目標をもって取り組んできている。ただ、表現力が苦手なため自信をもってできなかったりして、身につけた力を生かすことが不十分が多く見られる。2回目の交流会では、はずかしがらないで十分に自分の力を発揮できるように、言葉かけなど支援の工夫をしていきたい。
















M	<p>手話の自己しょうかいを紙を見ないでできるようにがんばる 手話でいろいろな会話ができるようにする。準備係</p>	<p>・教科学習の力がしっかりしていて、課題を自覚した追究ができていた。しかし、ふるさと学習発表会では、追究で深めたことを十分に生かすことが出来ていなかった。作文では本人なりに「いつもより大きな声で発表できてうれしかった。」と書いているが、自己評価ではやはり満足した評価ではないことが窺われる。ふるさと学習発表会では、追究活動で得た力を十分に発揮できるように、見守りながら言葉かけなどの支援を行っていきたい。</p>
N	<p>さんの前で発表するときは、大きな声でいう。 手話でいろいろな会話ができるようにする。ゲーム係</p>	<p>・ふるさと学習発表会は、風邪で欠席した。友だちに頼りがちな面もあるが、課題に自分なりの強い思いをもってこれまで追究活動をおこなってきた。2回目の交流会では、友だちに頼らずに自分の力でその思いを実現していくことができるように、見守りながら言葉かけなどの支援をおこなっていきたい。</p>

第27時

今まで追究してきたことを生かして、さんとさんを招いて楽しい交流会を開こう

活動の概要

2回目の交流会に向けて、交流会前半部の計画・準備を一人一人進める。

<p>予想される学習活動 教師の投げかけ・ 指導方針・ 子どもの思いや願い(発言・つぶやき)</p>	<p>評価の方法・目的 【4観点】(時間)</p>
<p>T 1</p>  <p>みんな今まで追究してきたことを生かした計画をたてていますか？ 学習ファイルが一人一人の教科書ですよ。先生がアドバイスしてくれた遊園地みたいな楽しい交流会にしよう。今日は、5時間目は、一人一人の計画・準備を進めてください。</p>   <p>もう一度資料を読み直してみよう。気付かなかったこともあるみたいだ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>うまくまとめている学習ファイルを紹介して、自分自身の教科書として使えることに気付かせる。</p> </div> <p style="text-align: right;">(5分)</p>	
<p>T 1</p>  <p>今まで通り、パソコンやビデオ、本、デジカメ、ビデオなど使って活動していいです。ワークシートNO.18の「4つのど」として見通しのある計画をたててください。計画をたてられた人から、活動を始めてください。</p>   <p>さんとお話したいことを、手話で出来るように調べたり練習したりするぞ。インターネットで調べたことを、さんにも直接質問したいなあ。さんの手話がわかるようになるために、ビデオでなるべくたくさんいろいろなことを覚えるぞ。</p>     <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>子ども一人一人の主体的な活動を期待したい。そのためにTTで個に応じた支援に努められるようにしていきたい。</p> </div> <p style="text-align: right;">(35分)</p>	  <p>T 1 T 2</p> <p>【 】 今までの学習をふりかえり、より良い目標や見通しのある計画をたてることができる。</p> <p>【 】 身近な生活との関わりから、自分の考えをもつことができる。</p>
<p>T 1</p>  <p>次時は、後半部のみんなで楽しく交流する時間の計画・準備をしよう。いろんなアイデアを考えていたね。この中から一番良いものを選んで、計画・準備を進めていこう。</p> 	 <p>T 1 T 2</p>

第28時

今まで追究してきたことを生かして、さんとさんを招いて楽しい交流会を開こう

活動の概要

2回目の交流会に向けて、交流会後半部の計画・準備をみんなで進める。

<p>予想される学習活動 教師の投げかけ・ 指導方針・ 子どもの思いや願い（発言・ つぶやき）</p>	<p>評価の方法・目的 【4観点】（時間）</p>
<p style="text-align: center;">T 1</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%;"> <p>アイデア箱の中のいろんなアイデアを紹介します。この中から1番にいいものをみんなで決めて、計画・準備を進めていこう。学級会みたいにして話し合いで決めよう。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p>学級会での話し合い経験を生かして、みんなで上手に交流会の計画が話し合えるように支援していきたい。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p>さんも さんも みんなが楽しめるもの って、どんなことかな？</p> </div> </div> </div> </div>	<p style="text-align: right;">（5分）</p>
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%;"> <p>みんなで楽しめるゲームがいいなあ。 さんはコックさんだから、いっしょに料理をしたいなあ。 せっかく手話の歌を覚えたから、いっしょにうたを歌ってみるといいのでは。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>子ども一人一人の主体的な活動を期待したい。そのためにTTで個に応じた支援に努められるようにしていきたい。</p> </div> </div>	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">   </div> <div style="text-align: right;">T 1 T 2</div> </div> <p>【 】 今までの学習をふりかえり、より良い目標や見通しのある計画をたてることができる。</p> <p>【 】 身近な生活との関わりから、自分の考えをもつことができる。</p> <p style="text-align: right;">（35分）</p>
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">T 1</p> <p>12月4日の交流会に向けて、それぞれ自分のやるべきことをしっかりもって、準備を進めていこう。12月3日に総合があるけれど、それ以外でも自分なりに進めなければいけない人もいるよね。責任をもってできるようにしようね。</p> </div> </div>	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: right;">T 1 T 2</div> </div> <p style="text-align: right;">（5分）</p>

<むきあう過程> (全7時間)

第29時~30時

第2回交流会の準備をがんばろう

平成 年 月 日 ( 曜日 ) 第 校時  
4年生教室 T1 ( ) T2 ( )

第31~32時

地域の聴覚障害者

さんと手話通訳者

さんを招いての第2回交流会

平成 年 月 日 ( 曜日 ) 第 校時  
4年生教室 T1 ( ) T2 ( )

外部講師

#### 1. 目標

自分たちの運営で交流会を成功させ、問題解決の成就感や達成感を味わうとともに、成長した自分自身に気づき、新たな自信をもつことができるようになる。

#### 2 評価の観点

### 学習したことを生活に生かせる力

#### 3 評価基準

自分たちが計画した交流会を成功させるために、いろいろな活動に進んで取り組もうとする。  
自分たちが計画した交流会に楽しく取り組もうとする。

友だちのいろいろな考えの良いところを合わせながら、みんなで協力して交流会の計画や準備ができる。  
友だちの考えの良いところがわかり、みんなと楽しく交流会の計画や準備ができる。

聴覚障害者との交流学習を通して、いろいろな人とコミュニケーションすることの良さがわかり、これからの生活の中で積極的に交流の輪を広げていきたいという自覚ができる。  
聴覚障害者との交流学習を通して、いろいろな人とコミュニケーションすることの楽しさがわかる。

#### 4 評価の視点

子ども一人一人が今まで追究し身に付けた力を生かそうとすることが出来る場として、聴覚障害者や手話通訳者との2回目の交流会を設定し、学ぶ喜びを味わうことができる学習過程の工夫をする。

今まで学習してきたことを進んで振り返ることができるように、これまでの自分の学びの道筋がわかる学習ファイルの整理を行うなど、ポートフォリオ作り活動を取り入れ、自己評価の工夫をする。

これまでの評価活動による実態把握から、学習活動や支援の工夫の改善を行い、子ども一人一人が自分に自信がもてるように、さらに理想をもって追究していくことができるように、一人一人に応じた評価活動を行う。

授業以外の時間にも主体的に交流会の準備などを行うことが見られることも予想される。例えば招待者への連絡、教室内の環境整備など。そういった活動も評価や支援の対象ととらえる。

授業後、主に次時の学習活動に生かせるようにするため、ワークシートなどの子どもの自己評価と教師の観察評価などを合わせて、基準で実態把握し、特記事項を個人カード1に記入する。

今後の学習活動に生かしたり、通知票や要録の資料にするために、最後に個人カード2に評価の観点にそって基準で総括的評価を行い、特記事項を記入する。

5 準備 ワークシート、クリアファイル、ファイルボックス(ポートフォリオ用)、手話関係ビデオ8巻、パソコン室、図書室、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ ビデオデッキ テレビ その他子どもが必要とするもの








#### 6 展開

第29～30時

今まで追究してきたことを生かして、さんとさんを招いて楽しい交流会を開こう

活動の概要

交流会を前日にひかえて、主体的に準備を進める。

<p>予想される学習活動 教師の投げかけ・ 指導方針・ 子どもの思いや願い(発言・つぶやき)</p>	<p>評価の方法・目的 【4観点】(時間)</p>
<p style="text-align: center;">T 1</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;">     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%;"> <p>明日はいよいよ楽しみにしている交流会だね。一人一人が準備することとみんなで準備することがあるね。みんなで準備することを優先的にして進めよう。みんなで準備する時は、はじめに何をするのかみんなで確認して、みんなが進んで考えて動けるようにしましょう。みんなで準備することを早く終わりにして、自分の準備もできるようにするといいね。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 20px;">             みんなで協力して準備して、たのしい交流会にするぞ！         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">             子ども一人一人の主体的な活動を期待したい。そのために活動前に自分の目標と評価規準を確認するように言葉かけする。         </div> </div> <p style="text-align: right;">(5分)</p>	
<p>準備のための活動(係の活動と一人一人の活動)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>一人一人の行動を観察しながら、最小限の範囲で活動がより意欲的に取り組めるような言葉かけをする。 前時の話し合いで、係は以下のように決まった。</p> <p>司会・・・、 案内・・・、 ゲーム・・・、 準備・・・、 学習ファイルの活用の様子を観察したい。</p> </div> <div style="margin-top: 20px;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             みんなで準備することが終わったので、上手に出来るように手話の練習をしよう。         </div> </div> <p style="text-align: right;">(80分)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: right;">T 1 T 2</p> <p>【 】 友だちの考えの良いところがわかり、みんなと楽しく交流会の計画や準備ができる。</p>
<p style="text-align: center;">T 1</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%;"> <p>明日は交流会だ。まだ準備が終わっていない人もいるので、それぞれ自分のやるべきことを明日の交流会までに責任をもってやってください。</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">(5分)</p>	<div style="text-align: right;">  <p>T 1 T 2 (5分)</p> </div>



### 第31～32時 第2回交流会

#### 活動の概要

自分たちが計画し、準備してきた交流会を行う。

<p>予想される学習活動 教師の投げかけ・ 指導方針・ 子どもの思いや願い(発言・ つぶやき)</p>	<p>評価の方法・目的 【4観点】(時間)</p>														
<div data-bbox="108 465 582 712"> </div> <div data-bbox="651 412 1185 568" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>はじめから最後まで、できるかぎり子どもたちの主体的な活動を見守れるような支援をしていきたい。安全面などには十分配慮したい。</p> </div> <div data-bbox="614 607 1417 1028" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>手話の自己紹介を紙を見ないでできるようにがんばるぞ！ 大きな声で(司会をして) たのしくするぞ！ まちがえないで自己紹介するぞ！ 都道府県の手話がんばりたい！ はずかしがらないで発表するぞ！ ジェスチャーゲームの問題作りをがんばるぞ！ 大きな声で出来るようにしたい。 司会者をがんばるぞ。 さんの前で発表するときは、大きな声で言いたい。 手話をまちがえないでやりたい。 さんとたくさん話をしたい。 50音をがんばる。 さんと話や挨拶が出来る人になりたい。 さんと話したりしたい。</p> </div> <div data-bbox="92 763 587 1249" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>日程は、前半が数分程度の一人一人の交流。後半が全員でジェスチャーゲームを楽しむ。 一人一人の発表の順番は以下の通り</p> <table border="0"> <tr><td>1</td><td>8</td></tr> <tr><td>2</td><td>9</td></tr> <tr><td>3</td><td>10</td></tr> <tr><td>4</td><td>11</td></tr> <tr><td>5</td><td>12</td></tr> <tr><td>6</td><td>13</td></tr> <tr><td>7</td><td>14</td></tr> </table> <p>後半のゲームでは、保護者なども参加できるように教師側が配慮し、みんなで楽しい雰囲気なるようにする。</p> </div> <div data-bbox="252 1265 459 1413"> </div> <div data-bbox="480 1308 807 1435" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>子どもたちの交流会に参加して、楽しいな。</p> </div>	1	8	2	9	3	10	4	11	5	12	6	13	7	14	<div data-bbox="986 1041 1189 1122"> </div> <div data-bbox="1098 1041 1189 1122"> </div> <p>T 1 T 2</p> <p>【 】 自分たちが計画した交流会に楽しく取り組もうとする。</p> <p>【 】 聴覚障害者との交流学習を通して、いろいろな人とコミュニケーションすることの楽しさがわかる。</p>
1	8														
2	9														
3	10														
4	11														
5	12														
6	13														
7	14														
<p>( 9 0 分 )</p>															
<p>授業後</p> <div data-bbox="97 1556 534 1646"> </div>	<div data-bbox="651 1525 1185 1823" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>交流会後、作文や保護者、外部講師などからの評価などをもとに、子ども一人一人の学びのプロセスや身についた力、教師の願いなどを総合的に評価し、通知票や要録への評価、今後の総合的な学習の指導に生かしていけるようにする。 観察だけでなく、会話(インタビュー)なども評価法に取り入れてみたい。</p> </div> <div data-bbox="1209 1608 1396 1697"> </div> <div data-bbox="1305 1608 1396 1697"> </div> <p>T 1 T 2</p>														